

「東日本大震災の移り住み調査と民家研究 今和次郎から現代へ」

東日本大震災後の仮設住宅から公営住宅への住み移りの調査の中で、民家調査の意義をもう一度見直す機会を何度も経験しました。民家調査も時代ごとに異なる要請や視点、方法で関心も多様化し広がってきましたが、被災地での経験からその原点を見直し、その方法論としての可能性を問い直してみたいと思います。

- 日 時：2019年1月19日（土）15：00～17：00
- 講師：黒石いずみ（青山学院大学総合文化政策学部）
- 会 場：法政大学市谷田町校舎 4 階 T412 教室
- 参加費：500 円（学生無料）



※この案内をメールで受け取ることが可能でしたらアドレスを mukuri_d@yahoo.co.jp 宛にご送信いただけましたら幸いです。事務作業と費用の面で大変助かります。金田